

オルタナティブとは何か：対象と方法



東京会場
JAビル カンファレンスセンター
 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄東西線(東京メトロ) 竹橋駅下車4番出口
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線(東京メトロ) 大手町駅下車 C2b出口
- お車でのアクセス
 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



名古屋会場
ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
 - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
- 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



大阪会場
ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
 - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線(JR) 大阪駅下車徒歩2分
 - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
 - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
 - ◎24時間営業
 - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

お申し込み方法
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂いておりますので、あらかじめご了承下さい。

こちらからお申し込み下さい

- ① <http://www.fromhc.com>
 プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

10/17 (火) 東京
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

10/16 (月) 名古屋
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー 5F
 TEL: 052-527-8500

10/24 (火) 大阪
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

ご挨拶に代えて

金融のない社会のほうが望ましい

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2017.02.02)より

金融の高度化よりも、金融を必要としない社会のほうが望ましいのではないか。あるいは、金融機能の進化とは、金融を消滅させる方向にあるのではないのか。もしも、銀行等が運転資本融資を顧客の視点で考えているとしたら、顧客の借入目的に沿って、顧客の利益のために、融資量の維持拡大ではなくて、逆に最小化を目指してきたでしょう。ならば、その先に、技術革新が起きたところで、融資業務から、在庫管理・決済にかかわる情報処理業務へと自然に転換できるはずですから、少しも、怖くないはずです。

逆に、技術革新が金融機能を不要にしていく方向に対して銀行等が危機感をもつとしたら、それは、銀行等の立場から金融機能を提供していて、顧客の視点を欠いているからです。フィンテックは、金融機関の立場からの効率化としてなら、金融の本質的な変革を意味しないでしょう。それは、顧客の利益の視点で、伝統的な金融を不要にするものとして、大きな意味があるのです。

金融にとって、金融機能を利用する側の視点にたつて、その目的を考えることが重要なのです。それが資金の借入需要なら、資金使途だけが問題であって、資金使途が運転資本の調達なら、その最小化のための経営の効率化こそが課題となって、その結果、運転資本が不要になれば、それに勝ることはないのです。

また、資金使途が設備の取得なら、設備の効率的利用だけが課題なのですから、総合的な経営効率の面で、資金を借りて設備を購入するよりも、設備そのものを借りたほうがよければ、融資を受ける必要はなく、リースやレンタルにすればいいことです。

リースは、ファイナンスリースはともかく、オペレーティングリースになれば、金融の限界に達し、レンタルともなれば、もはや金融ではないのです。しかし、そうした金融の境界が問題となるのは、どこまでも金融機関の視点だからです。顧客の視点で考えたとき、金融であるかどうかはどうでもいいことであって、金融機関の提供する機能を使わないほうがいいのなら、それでいいのです。

講師：森本紀行

講演内容

オルタナティブ投資の領域では、技術的な用語の氾濫が基本的な仕組みの理解を難しくしています。しかし、資産運用においては、一定の要件を備えたものだけが適格な投資対象になるのですから、オルタナティブと総称されるもののうち、投資対象としての本質的な要素のみを、おさえておけばいいわけです。

オルタナティブという英語の意味は、何かの代替ですが、そもそも、資産運用の世界では、何の代替としてオルタナティブが登場してきたのでしょうか。

一つには、伝統的な投資対象の代替です。伝統的な投資対象である株式や債券は、企業などが資金調達をする手段として創出されるものなのですから、オルタナティブは、資金調達の代替的手法でもあるはずですが。このような視点から、不動産等の実物資産、非公開株式、銀行に替わる融資、特殊な社債等を、位置付けることができます。

オルタナティブは、もう一つの意味として、伝統的な投資手法の代替という側面もあります。例えば、伝統的には、投資対象は買うものですが、代替的には、空売りも可能なわけです。このような視点から、ヘッジファンドの多くを位置付けることができます。

いずれにしても、投機ではないのですから、どのオルタナティブも、適格な投資対象としての経済合理性と社会的意味とをもたねばならないはずですが。その意味から、オルタナティブがまともな投資対象として成り立ちうる条件も、明らかにしておきましょう。

項目

- 資産を使った資金調達が作る投資機会
 - ◎不動産
 - ◎産業用の施設、機器、資源等
 - ◎インフラストラクチャー
- 特殊な状況における資金需要が作る投資機会
 - ◎プライベートエクイティと事業再編・創業
 - ◎ヘッジファンドと企業の合併・買収、破綻
 - ◎メザニン等と企業の一時的資金需要
- 銀行等の資本規制が作る投資機会
 - ◎銀行融資に替わる代替的資金供給
 - ◎銀行等の資本補完
 - ◎銀行等によるローン債権売却
- 市場の歪みが作る投資機会
 - ◎ヘッジファンドの多様な戦略
 - ◎マネジッドフューチャーズ
- 構造的に割安になる非流動資産の魅力
 - ◎金融機関等の高流動資産への選好が作る歪み
 - ◎時価評価の問題
 - ◎私的な関係性におけるリスク管理



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。